ココトリコイズミ

和泉市の財政状況

令和７年度決算



和泉市イメージキャラクター
コダイくん・ロマンちゃん



令和８年１０月

和泉市　総務部　財政課

財政の基礎知識

「財政」「予算」「決算」とは

「財政」とは・・・

地方公共団体は、住民の暮らしを支えるため、子育て、福祉、教育などの公共サービスを行っています。
さまざまなサービスを行うために、税金や手数料などを徴収したり、市債（借金）を発行したりしています。
このような一連の「お金のやりくり」を財政といいます。

「予算」とは・・・	「決算」とは・・・
その年度（４月～３月）における歳入、歳出の見積もり（計画）のことを予算といいます。 歳入：市に入ってくるお金（収入）のこと 歳出：市が支払うお金（支出）のこと	その年度（４月～３月）における歳入、歳出の実績のことを決算といいます。 実際に、どれだけの収入があり、どのような事業にいくら支出したのかが分かります。

市のお財布の種類について

和泉市のお財布は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。

＜一般会計＞

市の基本的な事業（福祉、教育、ごみ処理、道路など）をするためのお財布です。
税金や国・府からの補助金等が主な財源になっています。

＜特別会計＞

特定の事業を行うためのお財布です。国民健康保険など、保険料等の収入により、医療費等の支出をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための特別会計があるよ。
①国民健康保険事業　②公共用地先行取得事業
③介護保険事業　④後期高齢者医療事業



＜企業会計＞

民間企業と似た事業を行うためのお財布です。水道など料金収益により維持費用をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための企業会計があるよ。
①水道事業　②公共下水道事業
③公共浄化槽事業　④病院事業



各会計の決算概要

各会計ごとの決算状況

（単位：千円）

会計区分		歳入	歳出	形式収支	翌年度へ繰越	実質収支
一般会計		81,751,366	81,305,184	446,182	86,519	359,663
特別会計	国民健康保険事業	17,642,685	17,423,134	219,551	0	219,551
	公共用地先行取得事業	356,342	334,830	21,512	21,512	0
	介護保険事業	16,858,649	16,728,855	129,794	0	129,794
	後期高齢者医療事業	3,540,517	3,434,222	106,295	0	106,295
	計	38,398,193	37,921,041	477,152	21,512	455,640
合計		120,149,559	119,226,225	923,334	108,031	815,303



会計区分			収益的収支	資本的収支	資金剰余額
企業会計	水道事業	収入	3,174,556	790,326	1,314,863
		支出	3,159,821	1,285,156	
	公共下水道事業	収入	3,957,940	1,132,082	1,110,310
		支出	3,596,341	2,584,124	
	公共浄化槽事業	収入	29,657	1,771	13,334
		支出	29,568	1,771	
	病院事業	収入	660,108	1,000,036	0
		支出	1,022,918	1,034,488	

全ての公営企業会計で資金不足は発生していません。
収益的収支とは、日々の営業活動に関するもの、資本的収支とは施設の整備に関するものです。

企業会計の主な増減理由

水道事業

収益的収入について、受託工事収益及び下水道使用料等徴収業務負担金の増加はあったものの、内田加圧ポンプ所跡地売却に伴う固定資産売却益がなくなったため、前年度比38,027千円の減収となりました。
一方、収益的支出については、原水及び浄水費、総係費が増額したことで、前年度から129,545千円の増となったことから、単年度収支は14,735千円となりました。

公共下水道事業

収益的収入について、長期前受金戻入等の減少により前年度から65,827千円の減となりました。
一方、収益的支出については、減価償却費の減少に加え、支払利息及び企業債取扱諸費が減少したものの、流域下水道管理費が増加したため、前年度から23,430千円の増となったことから、単年度収支は361,599千円となりました。

公共浄化槽事業

公共浄化槽事業は、令和4年度から地方公営企業法を適用し、企業会計方式となりました。
収益的収入は一般会計補助金が大半を占めており、収益的支出は浄化槽費や減価償却費が大半を占めています。

病院事業

入院患者数は前年度比1.8%減の延べ11万9,034人、外来患者数は前年度比0.4%減の延べ27万762人となりました。
収益的収支において、収入は医業外収益の減少により660,108千円、支出は1,022,918千円となりました。

企業会計の詳細は、担当部署のホームページをご覧ください。

水道事業会計　http://www.izumi-suido.com/jyosuido/yosan-kessan/index.htm

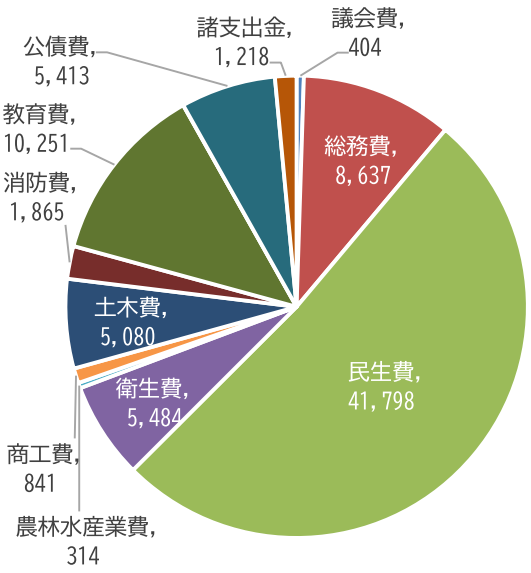
公共下水道事業会計、公共浄化槽事業会計　http://www.izumi-suido.com/gesuido/izumi-g/yosan-kessan/index.html

病院事業会計　https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kosodatekenkobu/byouinkeieikanri/gyoumu/yosankessan/12009.html

一般会計の決算

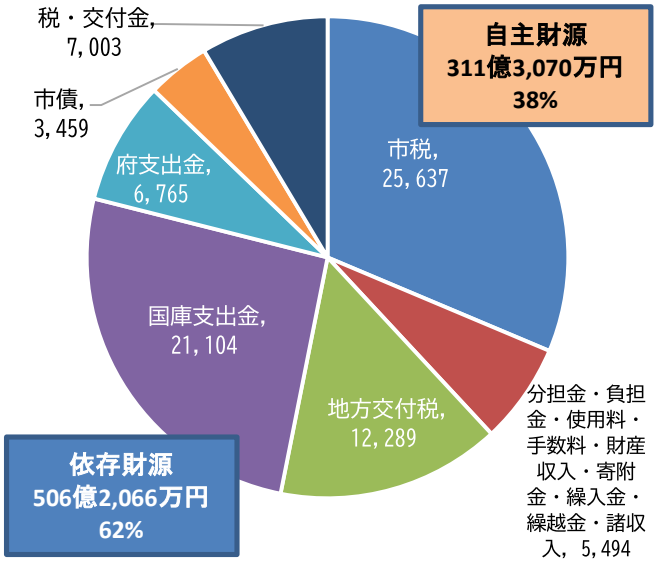
一般会計の決算は　3億5,966万円　の黒字となりました。

歳出　813億518万円



歳入　817億5,136万円

単位：百万円



令和７年度　一般会計決算は、

市に入ったお金（歳入）は、817億5,136万円

市が使ったお金（歳出）は、813億518万円

差し引き（形式収支）は、4億4,618万円　でした。

　このうち令和７年度に事業完了しなかった　8,652万円　を次年度に繰り越して使います。

形式収支から繰り越しする財源を差し引いた　3億5,966万円　が実質収支となります。

＜参考＞

令和６年度　一般会計決算は、

市に入ったお金（歳入）は、799億6,302万円

市が使ったお金（歳出）は、792億9,274万円

差し引き（形式収支）は、6億7,028万円　でした。

　このうち令和６年度に事業完了しなかった　3億1,534万円　を次年度に繰り越して使います。

形式収支から繰り越しする財源を差し引いた　3億5,494万円　が実質収支となります。

一人当たりの歳出額

和泉市

令和７年度決算における市民一人当たりの歳出額


議会費
2,233円
議会の運営のために


総務費
47,732円
庁舎の管理などのために


民生費
230,982円
福祉や子育てのために


衛生費
30,306円
環境保全などのために


農林水産業費
1,737円
農林業などのために


商工費
4,645円
商業振興のために


土木費
28,075円
公共事業などのために


消防費
10,304円
消防のために


教育費
56,650円
教育のために


公債費
29,914円
借入金返済のために



他の市町村と比較すると・・・

令和６年度決算における市民一人当たり歳出額の類似団体・大阪府内平均との比較

議会費	2,222円
類似団体平均	2,069円
大阪府内平均	1,789円

総務費	45,153円
類似団体平均	48,536円
大阪府内平均	47,900円

民生費	218,012円
類似団体平均	207,864円
大阪府内平均	273,014円

衛生費	30,548円
類似団体平均	36,821円
大阪府内平均	37,798円

農林水産費	1,699円
類似団体平均	2,812円
大阪府内平均	913円

商工費	1,228円
類似団体平均	5,481円
大阪府内平均	12,016円

土木費	24,164円
類似団体平均	37,154円
大阪府内平均	54,266円

消防費	19,259円
類似団体平均	14,446円
大阪府内平均	15,853円

教育費	60,391円
類似団体平均	54,359円
大阪府内平均	79,141円

公債費	31,255円
類似団体平均	26,682円
大阪府内平均	45,535円

類似団体とは

人口や産業構造で日本全国市町村を分けた「市町村類型」で同じグループに入る団体のことをいいます。





令和６年度の市民一人当たりの民生費は218,012円で類似団体平均と比較して多くなっているのは、社会保障経費が多くなっているためです。また、令和７年度はお買い物割引チケットや2025大阪・関西万博関連事業により商工費が増額となっています。

令和７年度 に取り組んだ主な事業

●2025大阪・関西万博関連事業



令和７年度決算額：2,479万円

2025大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージで「2025 大阪和泉市デー」を開催しました。ステージイベントでは、市内学校吹奏楽部による演奏、いずもくチェーンソーアート、英国式金管バンド、ジャズ、盆踊りなどにより和泉市の魅力と活力を発信すると共に、いずみの国和泉市PR大使のお笑い芸人「エルフ」や「いずみ太鼓 皷聖泉」も出演しました。

●北信太駅前の整備



令和７年度決算額：4億5,608万円

北信太駅周辺地区の整備について、自由通路及び北信太駅西口広場、アクセス道路の整備工事を実施し、西側整備が完了しました。また、既存地下通路の閉塞工事に向けた実施設計を行いました。また、大阪府からの受託事業として大阪和泉南線の歩道用地について、用地購入などを行いました。

●（仮称）防災備蓄倉庫の整備

令和７年度決算額：5,967万円

南海トラフ地震等大規模災害に備え、災害用備蓄品の備蓄や大規模災害時にプッシュ型で届く緊急支援物資の受入場所として、旧消防本部跡地に（仮称）防災備蓄倉庫を新築整備をするため、（仮称）防災備蓄倉庫の設計及び旧消防本部の除却工事に着手しました。

●医療的ケア機能を備えた民間保育施設創設事業費補助

令和７年度決算額：4億3,065万円

令和８年４月の開園に向けて、運営事業者に対し整備費用の一部補助を行った。また、民間園の保育士を芦部保育園に先行配置し、円滑な引継ぎを行うとともに費用の一部補助を行いました。

●北松尾幼稚園と北松尾保育園の統合

令和７年度決算額：7,880万円

北松尾幼稚園と北松尾保育園を統合し、令和8年4月に開園する（仮称）北松尾こども園の改修工事を実施しました。

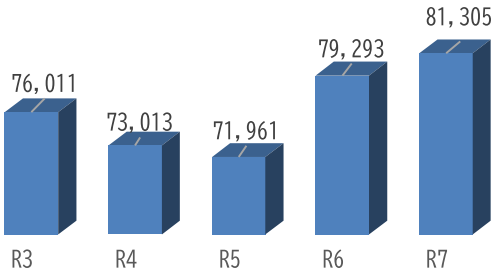
●池上曽根史跡公園の整備

令和７年度決算額：1億5,528万円

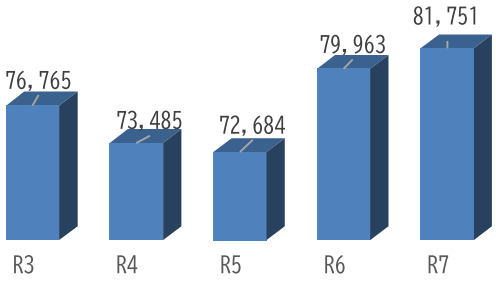
史跡池上曽根遺跡の保存と活用を図るため、令和７年度は第２期整備エリアの整備工事を実施しました。

一般会計における５年間の決算状況の推移

歳出決算額の推移（単位：百万円）

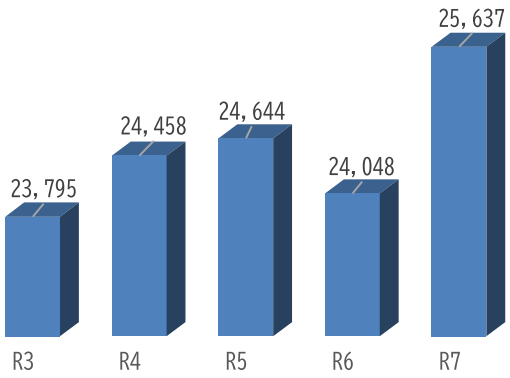


歳入決算額の推移（単位：百万円）

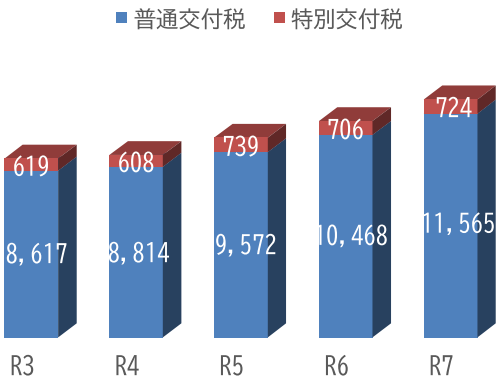


令和７年度の歳出	813億518万円	令和７年度の歳入	817億5,136万円
前年度比較	20億1,244万円（2.5%）増加	前年度比較	17億8,834万円（2.2%）増加
主な増減要因	（仮称）富秋学園、（仮称）北西部認定こども園等の整備により建設事業費が増加しました。	主な増減要因	市債発行が減少したものの、市税及び地方交付税が増加しました。

市税の推移（単位：百万円）



地方交付税の推移（単位：百万円）

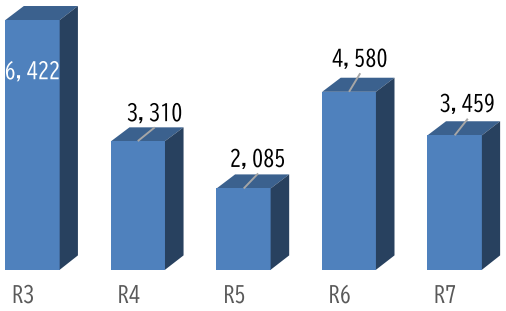


令和７年度の税収	256億3,707万円	令和７年度の地方交付税	122億8,915万円
前年度比較	15億8,917万円（6.6%）増加	前年度比較	11億1,530万円（10.0%）増加
主な増減要因	個人市民税が13億6,229万円、固定資産税が2億831万円増加しました。	主な増減要因	普通交付税が10億9,701万円、特別交付税が1,829万円増加しました。

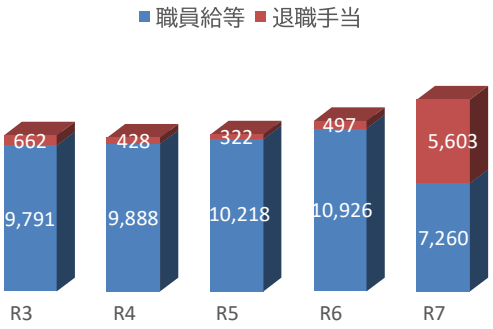
用語の説明

地方交付税	住民サービスに必要な費用が、市税などの収入を上回ったときに国から交付されるお金であり、普通交付税と特別交付税の合計
	普通交付税　＝　基準財政需要額（費用）　－　基準財政収入額（収入）
人件費	職員の給与などの費用
扶助費	保育や高齢者、障がい者などの支援のための費用
建設事業費	道路や学校、庁舎などの整備・改修費用

市債発行額の推移（単位：百万円）

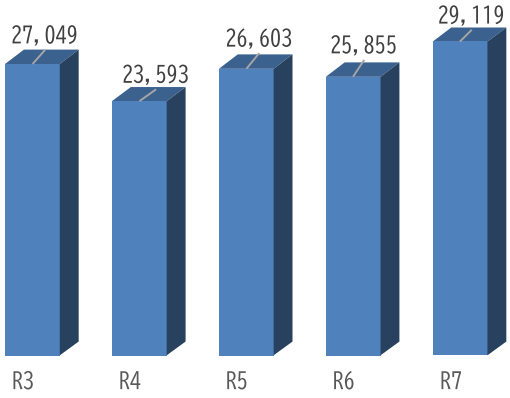


人件費の推移（単位：百万円）

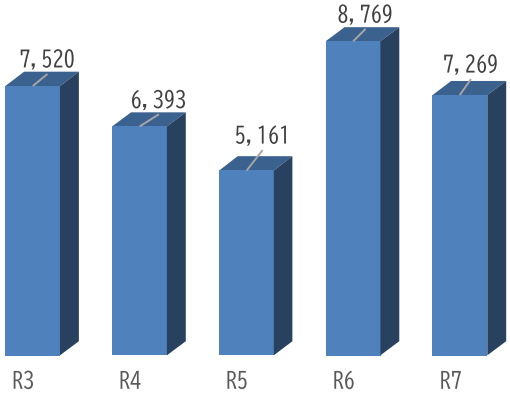


令和７年度の市債発行額	34億5,890万円	令和７年度の人件費	128億6,347万円
前年度比較	11億2,150万円（24.5%）減少	前年度比較	14億4,043万円（12.6%）増加
主な増減要因	（仮称）富秋学園や（仮称）北西部地域認定こども園の整備に伴う資金調達が生じたものの、槇尾学園の整備事業が完了したことに加え、これまでの借入金の返済が進んだことにより、全体としては減少しました。	主な増減要因	職員給与費等が8億9,306円増加た他、会計年度職員配置費が1億4,960万円増加しました。

扶助費の推移（単位：百万円）



建設事業費の推移（単位：百万円）

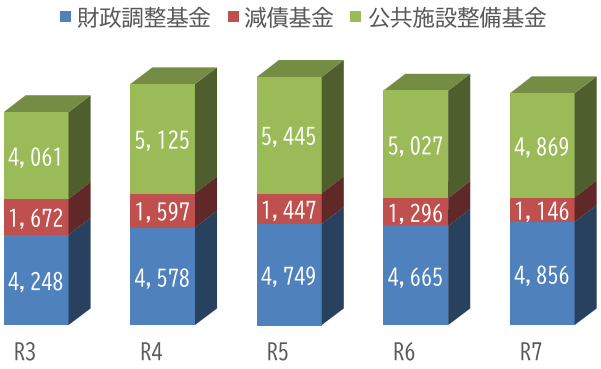


令和７年度の扶助費	291億1,884万円	令和７年度の普通建設事業費	72億6,914万円
前年度比較	32億6,350万円（12.6%）増加	前年度比較	15億11万円（17.1%）減少
主な増減要因	児童手当扶助費において9億2,074万円、障がい者介護等給付費において7億409万円増加しました。	主な増減要因	（仮称）富秋学園や（仮称）北西部地域認定こども園の整備に伴う費用が発生したものの、槇尾学園の整備事業が令和６年度に完了したことにより、全体としては減少しました。

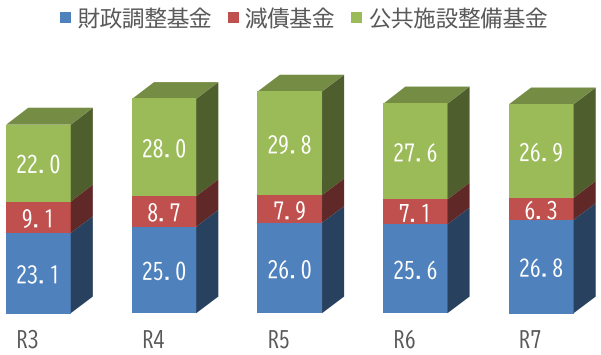


建設事業では今後、（仮称）防災備蓄倉庫の整備、学校の大規模改修、青少年の家の改修、（仮称）富秋学園整備事業を進めていくよ。

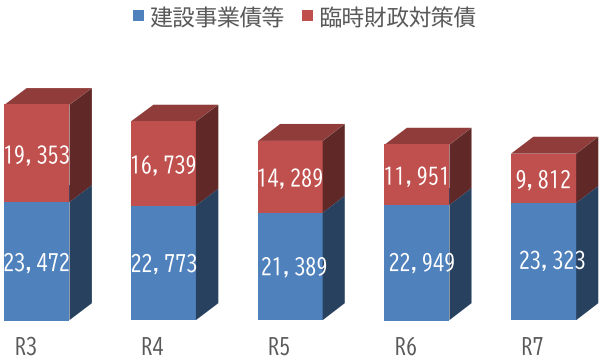
主要３基金残高（単位：百万円）



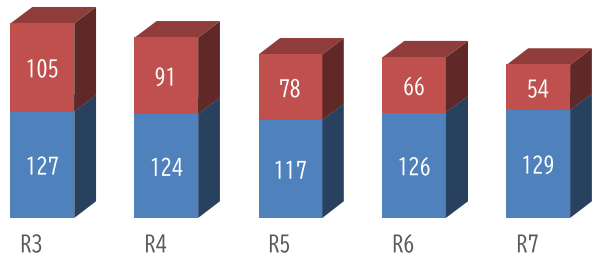
市民一人当たり主要３基金残高
（単位：百万円）



市債残高（単位：百万円）



市民一人当たり市債残高（単位：千円）



令和７年度末の一般会計の貯金（３基金残高）は約110億円だよ。

これから人口減少による税収の減少、社会保障費の増加、施設の老朽化対策も必要なので貯金が減っていく見込だよ。

常に、10年後にも貯金が30億円をキープできるように、将来を見据えて運営しているんだ。



用語の説明

建設事業債等	臨時財政対策債
道路や公園、学校などの公共施設の整備のために発行した市債です。	国が交付すべき地方交付税の財源が不足した場合に、穴埋めとして市が発行する市債です。 返済時に地方交付税で補填されます。

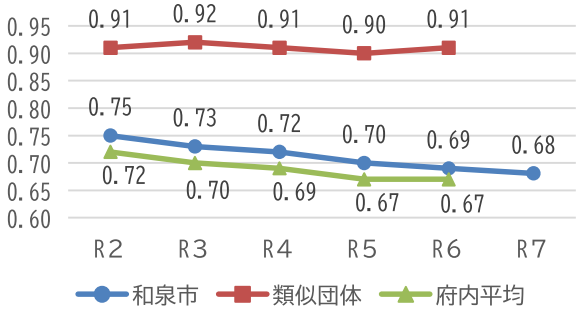
令和７年度末の一般会計の借金は、約331億円だよ。

借金をするのは・・・
建物や道路は作った年度だけでなく将来にわたって使われるよ。
作った年度の住民だけに負担してもらうのではなく、将来の住民にも負担してもらうため、借金の返済という形で世代間の公平を保っているんだね。



指標による他市との比較

財政力指数

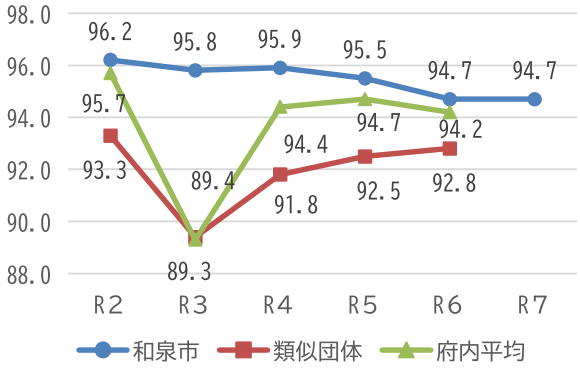


令和７年度の財政力指数　　0.68

　費用に対する収入の割合です。
　基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の過去３年平均値で、数値が高いほど財源に余裕があることになります。

　令和６年度の指数を類似団体と比較すると0.22ポイント悪くなっています。

経常収支比率（単位：%）

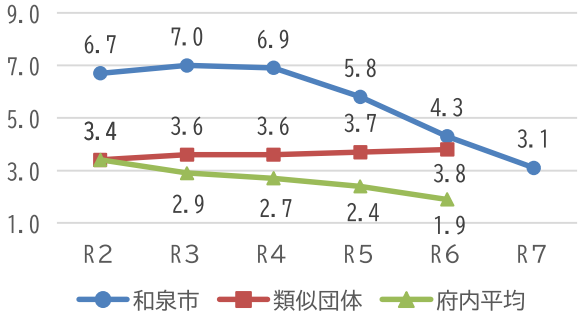


令和７年度の経常収支比率　　94.7

　市税や交付税などの使途が決められていない収入が、人件費、扶助費、公債費など経常的な費用に充当される割合です。数値が低いほど、財政に自由度があるといえます。

　公債費が多いことから、令和６年度の比率を類似団体と比較すると1.9ポイント悪くなっています。

実質公債費比率　（単位：%）



令和７年度の実質公債費比率　　3.1

　借入金（市債）等の標準財政規模に対する比率の過去３年平均値です。数値が小さいほど、借入金返済にかかる経費が少ないといえます。

　令和６年度の比率を類似団体と比較すると0.5ポイント悪くなっています。

早期健全化基準、財政再生基準

（単位：%）

指標名称	令和７年度	早期健全化基準（黄信号）	財政再生基準（赤信号）
実質赤字比率	-	11.44	20.00
連結実質赤字比率	-	16.44	30.00
実質公債費比率	3.1	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※赤字額がない、数値が負数となるなど、比率が算定されないものは「-」と表示しています。



和泉市の現状と課題

（1）現在の財政状況

本市の財政は実質収支の黒字を維持しているものの、「経常収支比率（人件費など経常的に支出する「経常経費充当一般財源」が、税収や普通交付税など経常的な収入である「経常一般財源等」に占める割合）」は、令和７年度において 94.7%であり、依然として本市財政は硬直化した状態が続いています。また、本市の予算規模（歳出）は、令和元年度決算の約639億円から、令和７年度決算では約813億円へと、ここ数年で約1.3倍に拡大しており、その規模は急速に膨らんでいます。

（2）持続可能な財政運営に向けた取組

今後、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加に加え、物価・資材高騰による建設事業費の上昇や、頻発する自然災害への備えなど、歳出の増加傾向は続く見込みです。一方、歳入は、生産年齢人口の減少に伴い市税収入の大幅な増加は見込めず、地方交付税も国の財政状況から不透明であり、極めて厳しい見通しとなっています。

このような状況下でも市民ニーズに的確に対応するため、事業の「選択と集中」による歳出抑制や公共施設の長寿命化による将来負担の平準化を進めるとともに、ふるさと納税の強化や基金の債券運用など、積極的な自主財源の確保に取り組みます。



創発プラン（改訂版）における健全化項目（一部）

令和７年度決算見込ベース

（1）歳入の確保　　効果額（単位：百万円）

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2-R7計
活用が見込めない財産の売却	創発プラン見込額	32		309	250	369		960
	Ｒ７決算見込額ベース	32		309	250	211	190	992
市営住宅の駐車場使用料の見直し	創発プラン見込額	5	20	26	23	23	30	127
	Ｒ７決算見込額ベース	5	20	26	23	22	19	115
歳入における取組合計	創発プラン見込額	70	54	371	300	410	48	1,253
	Ｒ７決算見込額ベース	70	54	371	300	254	230	1,279

（2）歳出における取り組み　　効果額（単位：百万円）

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2-R7計
経常経費の見直し（マイナスシーリング）	創発プラン見込額	72	72	72	92	92	92	492
	Ｒ７決算見込額ベース	72	72	72	92	92	92	492
敬老祝金・祝品を見直し、他の高齢者施策に活用	創発プラン見込額	38	42	37	36	39	39	231
	Ｒ７決算見込額ベース	38	42	37	36	41	47	241
歳出における取組合計	創発プラン見込額	226	300	390	401	410	388	2,115
	Ｒ７決算見込額ベース	226	300	390	401	475	414	2,206



収支・基金残高見通し

令和７年度決算見込みベースにおける収支見通し　（単位；百万円）

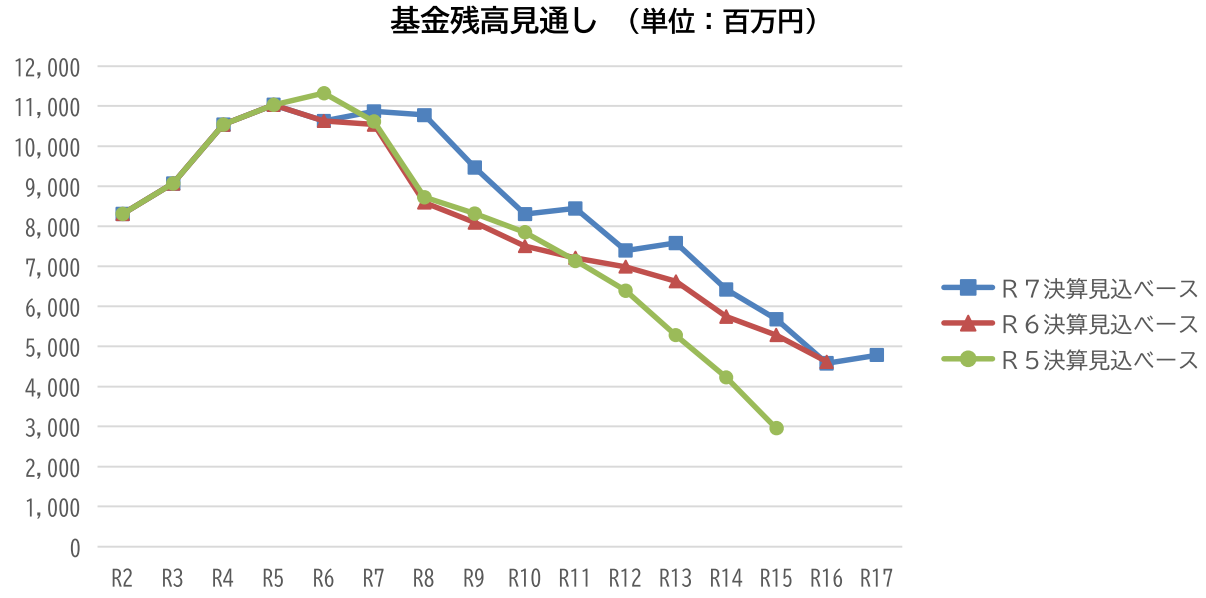
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
実質収支	284	646	339	365	355	360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,030	10,627	10,871	10,776	9,469	8,307	8,443	7,395	7,583	6,421	5,677	4,577	4,782

令和６年度決算見込みベースにおける収支見通し　（単位；百万円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
実質収支	284	646	339	365	355	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,030	10,627	10,543	8,591	8,094	7,503	7,212	6,991	6,626	5,744	5,283	4,617

令和５年度決算見込みベースにおける収支見通し　（単位；百万円）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
実質収支	284	646	339	365	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,030	11,320	10,615	8,730	8,317	7,849	7,140	6,395	5,280	4,226	2,957





決算時点から10年後までの各年度末基金残高として約40億円を確保することを目標としているよ。

基金（貯金）がなくなってしまうと、その年の収入の範囲内でしか行政サービスを提供できなくなるよ。そうなれば、今よりも行政サービスは低下するし、公共施設が廃止されたりすることがあるよ。



今後の主な施策、行財政改革の詳細については、「和泉創発プラン2.0を策定しました」をご覧ください。

https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/Souhatsu2/23105.html